

# 絶好のお花見ハイキング！！

今回のハイキングは天候に恵まれました。前回は霧に包まれただけに、好天のありがたみを再認識しましたよ。行先は埼玉県の芦ヶ久保は丸山。広い秩父の中でも東京に近く、足立区から2時間でアクセスできます。

高速道路を下りて秩父市方面へ国道299号を進んでいて、ふと窓の外を見ると（正直に言えば目を覚ますと）満開のソメイヨシノ。溪流と言えそうな川（地図には高麗川とあります）と鉄道とに沿って美しい景観が次々と現れました。隣の席の田沢さんにあれこれ話しかけます。バスに乗ると大抵近くに田沢さんがいて、その隣の窓側には決まって和也さん。「あの桜の樹形見て！きれいな広がり！」「うん、きれい。」「今のレンギョウみた？あんなに大きいのは滅多にないよ！」「ほんとだー。」分かち合えるに越したことはありませんが、聞いてくれる人がいるだけで良いものです。他にもヤマツツジにスイセンとバスの中はすっかりお花見ムード。一般参加のみなさんが「来てよかったね」「こんなに桜が見られると思わなかったわ」とすでに満足してしまったようでした。同じ気分ですが「来てよかったね」はさすがに早い。今日はハイキング、ゴールは360°のパノラマが売りの展望台です。



登山口近くの「道の駅あしがくぼ」で降りると、桜の大木が満開で自動車もバイクもほぼ満車。みんなを誘導していると、松本さんがなぜか手ぶら。「荷物は？」「バスだよ」。トイレ休憩と勘違いしたかな？もう今日はお花見でいいのかな？一方では、お弁当を購入する人が手近にあるものを迷わずに取る横に一人悩んでいる桑原さん。手には鮎の塩焼き弁当。「おいしそうだね。量は少な目だけどいい？」「いいです。これにします。」いなりずしを追加するようなことはしません。彼らの中では弁当は一つなのです。そうでないと、満腹になることが目的になりかねないから、かもしれせん。

そうして登り始めてまもなく、桜の大木の脇を通った時に偶然風が吹きました。桜吹雪は滞空時間が長くて青空にキラキラして、何かと写真におさめる川口さんも「あーっ」と見ていました。秋葉さんは「こういうことですよ。上O公園とかそういうことじゃなくて」としみじみ。企画者としては歩きだして10分までにこれほど満足されると複雑な部分もありますが、それにしても鮎の塩焼き弁当を広げて座りたくなるような場所でした…。

はい。というわけで、ここから4時間登ったのですが、紙面が残り少ないので大幅にはしりません。そう、この日はずっと登りで、山頂でバスに乗るというルートでした。標高差は500メートルぐらいで疲れましたが、車で来て見るのとでは展望台からの景色は違ったでしょう。この後飲む



自販機のジュースの味も格別でしょう。「やっぱり登って良かったね」と参加者の方から聞こえました。葦の会メンバーの中にも50代が増え始めて、体力を心配する声も出てきていますが、誰も遅れることなく登っているので「登れて良かったね」と僕は単純に思っています。

それにしても、このあたり本当にきれいなところなので、東京にお住まいの方で「桜が散ったが見足りない」と今後感じたら、ぜひ秩父方面へ足を運んでください。

(榎崎)